



ゆいまーるタウンミーティング

2012年太平洋・島サミットを成功させよう

— 島嶼国支援の実現に向けて —



- ◆日 時: 2010年12月3日(金) 14:00~16:50
- ◆会 場: JICA沖縄国際センター ニライホール (浦添市前田)
- ◆主 催: 財団法人 地球共生ゆいまーる
- ◆協 賛: 桜美林大学
- ◆後 援: 沖縄県・沖縄電力株式会社・一般社団法人共同通信社
琉球新報社・沖縄タイムス社・日本経済新聞社那覇支局

会次第

14:30~14:40 **開会挨拶**
橋本晃和 当財団理事長

第Ⅰ部 **ご挨拶**

14:40~14:50 末松義規 内閣府副大臣メッセージ

14:50~15:10 仲井眞弘多 沖縄県知事メッセージ

第Ⅱ部 「2012年 太平洋・島サミットを成功させよう」

15:15~15:35 開催決定までの経過報告
報告:小竹正記 当財団研究員

15:35~16:35 ディスカッション
総合司会:澁澤寿一 当財団評議員
足立久留美 桜美林大学

16:40~16:50 **閉会挨拶**
高良倉吉 当財団副理事長

開会挨拶

財団法人地球共生ゆいまーる 理事長 橋本晃和

去る10月16日に、2012年「第6回太平洋・島サミット」沖縄開催が正式に決定されました。開催地決定まで苦戦が伝えられておりましたが、沖縄の可能性を島嶼国首脳に理解してもらう機会を得ることができましたことは大きな喜びであり、これもひとえに沖縄県あげての成果の賜物といえます。

ゆいまーる財団は、沖縄県知事の要請を受け、側面的に沖縄県に協力して参りました。第5回までのロジスティクスに加えて、今回はさらにサブスタンス(内容)に関しても、提言をするように期待されています。

沖縄で開催される2012年第6回太平洋・島サミットの成功に向けて、ゆいまーる財団が提唱している「島嶼国支援」をどう実現していくのかご参加の皆様とともに意見交換して参りたいと存じます。

沖縄県知事

仲井真弘久 殿

稟 請 書

貴職の沖縄県政運営に対し、心から敬意を表します。

さて、当財団は、沖縄の持つ可能性に軸足を置いて、アジア太平洋地域の共生を目指す活動と事業を推進しております。

つきましては、2012年開催の第6回「太平洋・島サミット」を、是非沖縄の地で開催できるよう、貴職のご英断とご尽力をお願いする次第です。アジア太平洋地域の地震・津波等の大規模自然災害に備えるために、無線通信ネットワーク構築による島嶼国支援の本部を沖縄に設置するなど、緊急かつ重要な問題について、沖縄の地で真剣に討議できる機会を実現して下さるよう、お願い申し上げます。当財団も、微力ながら応援する覚悟であり、ここに稟請いたします。

平成22年4月27日

財団法人 地球共生ゆいまーる

理事長 橋本晃和





(財)地球共生ゆいまーる 開催提言の趣旨(1)

「太平洋・島サミット」の開催地には沖縄県こそが相応しい。

- ・ 日本と太平洋島嶼国が「島を共通基盤として結ばれていること」を象徴している。
- ・ 日本の中で、太平洋島嶼国に最も近い。
- ・ 沖縄は島嶼県であり、太平洋島嶼国と問題を共有し、経験と技術を持つ。
(環境、エネルギー、産業、生活 等 持続可能な社会への取り組み)
- ・ 「21世紀ビジョン」に掲げる「国際交流への貢献」
- ・ 過去二回の開催経験、設備など完備状況

(財)地球共生ゆいまーる 開催提言の趣旨(2)

「ロジスティックス」から「サブスタンス」へ

開催地は、今までサミットの「ロジスティックス」に注力し、「サブスタンス」(内容)にまでは踏み込みませんでした。今回第6回サミットから初めて、「サブスタンス」について要望することが期待されています。

(財)地球共生ゆいまーる は、外務省に対して

「サブスタンス」(内容)について助言等を通じ、協力して参ります。

(財)地球共生ゆいまーる は、

「外務省」と「沖縄県」との橋渡しをして参ります。



「企画」(案) 要旨

「第6回太平洋・島サミット」は2012年5月に開催が予定されていますが、当財団は、「我国唯一の島嶼県」という特徴を持つ沖縄県が開催地として適切であり、是非とも立候補するよう、仲井眞弘多沖縄県知事に対して稟請したところ、知事から「是非一緒にやろう」と協力を要請されました。(平成22年4月27日)

その結果、議題には、過去の討議と実施の経緯を踏まえて、島嶼国において重要さを増しつつある、「自然災害への対応」ならびに「デジタル・デバイドの解消」を企画し、提言することになりました。

- (1) 風力発電等再生可能エネルギー発電の技術導入を図る。
- (2) 地震・津波対策における島嶼国への技術移転を促進する。
- (3) アジア太平洋地域の地震・津波等の大規模自然災害に備えるために、同地域の島嶼国に無線通信ネットワークを構築し、本部を沖縄に設置する。



島嶼国支援シンポジウムin 沖縄

沖縄が島嶼国との架け橋となる

2009.12.8

提唱

沖縄に

(財)地球共生ゆいまーる

「太平洋島嶼国・島嶼県支援本部」の設置

- [1] 津波・地震対策
無線通信ネットワークの構築と技術移転の促進を
- [2] 温室効果ガス削減
島嶼国への公的資金と技術移転の枠組み作りを

成果

- [1] 沖縄における成果
県経済の活性化・雇用の創出・IT関連企業の成長・発展
沖縄県離島における安全と活性化の推進
- [2] 日本における成果
国際公約「温室効果ガス25%削減」への多大な寄与
島嶼国との信頼強化によるアジア太平洋外交の進展



開催地決定までの (財)地球共生ゆいまーる 活動経緯

日付	項目
2010.4.27	仲井眞県知事に「太平洋・島サミット」の沖縄県開催を稟請
2010.7.1	沖縄県観光商工部観光振興課長と情報交換
2010.7.9	「YRP 研究開発推進協会」齋昭男会長に協力要請
2010.7.31	「港湾空港技術研究所」金澤寛理事長及び高橋重雄アジア太平洋沿岸防災研究センター長に協力要請
2010.8.18	「企画」(案)を仲井眞弘多沖縄県知事に提出
2010.8.25	西村智奈美 外務大臣政務官に協力要請
2010.9.3	外務省アジア大洋州局大洋州課長と情報交換
2010.9.8	沖縄電力(株) 企画本部企画部 本永浩之次長に協力要請
2010.9.9	沖縄県観光商工部観光振興課 誘致企画監と情報交換
2010.9.13	日本国際問題研究所主催 公開シンポジウム『日本と太平洋島嶼国のパートナーシップ強化に向けて』(外務省後援)出席
2010.9.13	『日本と太平洋島嶼国のパートナーシップ強化に向けて』後の、西村智奈美 外務大臣政務官主催レセプション招待
2010.9.28	西村智奈美 外務大臣政務官と情報交換
2010.9.29 ~9.30	沖縄電力(株)可倒式風力発電(波照間島)及び太陽光発電(宮古島)実証実験設備視察
2010.10.14	外務省大洋州課首席事務官から沖縄県観光商工部観光振興課 誘致企画監が、開催地内定の連絡を受ける
2010.10.14	外務省大洋州課首席事務官から橋本晃和理事長が、開催地内定の連絡を受ける
2010.10.15	太平洋・島サミット開催地が沖縄県に決定
2010.10.15	沖縄県観光商工部観光振興課誘致企画監から小竹正記研究員が、開催地決定の連絡を受ける
2010.10.16	前原誠司外務大臣が「太平洋・島サミット中間閣僚会議」において開催地(沖縄県)を正式発表

～未来を拓く地球共生システムの実現を目指して～

- ◆地球共生の構築に関する調査研究事業
- ◆地球共生の理解ならびに活動につながる対外的普及と啓発事業
- ◆日本およびアジア太平洋島嶼国の児童・青少年の沖縄における交流および育成事業
- ◆その他、本財団の目的達成に必要な事業

沖縄から人類共生の“いのち”を発信しよう！

私たちは限りある“いのち”あるものとして
この地球上で お互いに出会い、
共に支え合って生きている(ゆいまーる)

21世紀に生きる人類が未曾有の危機にあるときに
後世に地球上の人々が共生できる環境を創り
これを後世に継承する義務がある

この環境づくりに、もっともふさわしい場所
それが「沖縄」！

沖縄は人類共生の「磁場」
人間と人間の共生が「平和」
人間と自然の共生が「環境」

財団法人 地球共生ゆいまーる
理事長 橋本 晃和
副理事長 高良 倉吉
副理事長 五月女 光弘



財団法人 地球共生ゆいまーる

INSTITUTE FOR GLOBAL COEXISTENCE

本部 〒904-2142 沖縄県沖縄市登川1584-1
東京連絡窓口 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-8
光輪ビル3F

TEL/FAX:03-6803-0810 E-mail: yui-pica@nifty.com

URL:www.yui-pica.or.jp